

カラスバト

Columba janthina janthina

ハト目 ハト科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 準



日本の周辺だけに生息する準固有種。暖流域にある島や海岸部の常緑広葉樹林内に周年生息し、シイやタブ、ツバキなどの実を好んで食べる。キジバトよりも大きく、全身が真っ黒で金属光沢がある。「ウッー、ウッー」と太い声で2声ずつ鳴く。県内では深島、沖黒島など県南の島に周年生息するが、鶴見半島、佐賀関の半島部で確認されたこともある。生息環境が島に限定されているため、確認される個体数が少ない。

(写真：澤岡潤治 文：島岡 章)

県内分布 深島、沖黒島など県南の島に生息する留鳥。

分布域 伊豆諸島と九州周辺、奄美諸島、琉球諸島、隠岐以南の暖流域の島や海岸部に生息する留鳥。
朝鮮半島、中国黄海と日本の島に生息する留鳥。